

## 2024 年度普及啓発事業について

## 1 交流セミナー開催

- ・2022 年度から交流セミナーを開催しており、2022 年度は聴覚障害、2023 年度は視覚障害と関わりが深く、いずれも知名度の高い著名人をゲストを招いている。2024 年度も同様の手法で交流セミナーを開催予定。
- ・聴覚障害、視覚障害以外の障害種別と関わりが深く、幅広い層に知名度の高いゲストを招くことを検討する。  
(例) 盲ろう、ALS、知的障害、発達障害と関わりが深く、知名度の高いゲスト（各業界で活躍する当事者、様々な形で支援に携わる著名人 等）
- ・2023 年度は、参加者を巻き込むメニュー（ブラインドサッカーの実演）や当事者の登壇（視覚に障害のある方）を予定している。いずれも継続することを前提として、今年度の開催結果を踏まえて方法を再度検討する。

## 2 コミュニケーション支援アプリの運用

- ・継続運用し、専門部会、利用者等からの御意見を踏まえ、アプリの更新を図っていく。
- ・福祉施設等におけるアプリを活用したコミュニケーション支援の研修会の開催を検討する。

## 【参考】これまでの普及啓発事業

2016 年 10 月：手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例制定

2016 年度：条例説明リーフレット・ポスター作成及びシンポジウムの開催

2017 年度：子ども向け普及啓発ワークシートの作成及び条例PRイベントの開催

2018 年度：企業向けリーフレット及び障害者理解促進イベントの開催

2019 年度：市町村職員向け避難所コミュニケーションセミナーの開催

2020 年度：コミュニケーション支援アプリ開発・普及

2021 年度：企業向け小冊子作成・配布及びシンポジウムの開催、コミュニケーション支援アプリ運用

2022 年度：条例説明リーフレットの増刷、交流セミナーの開催、コミュニケーション支援アプリ運用

2023 年度：コミュニケーション支援アプリ説明チラシの増刷、交流セミナーの開催、コミュニケーション支援アプリ運用